

埼玉芸術劇場 通信

NO. 24

S A I T A M A A R T S T H E A T E R P R E S S

2009.11-12月号

【NINAGAWA 千の目^{まなざし}】

彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督・演出家

女優

蜷川幸雄 ✕ 麻実れい



CONCERT SEASON 2009 - 2010



INDEX

Saitama Arts Theater Press NO.24 Nov.-Dec.

ESSAY 03 ヤン・ファープル『寛容のオルギア』

束芋

PLAY 04 彩の国シェイクスピア・シリーズ第22弾

『ヘンリー六世』

TALK 10 公開対談 NINAGAWA 千の目 第20回

蜷川幸雄 × 女優 麻実れい

DANCE 12 池田扶美代 + アラン・ブラテル + ベンヤミン・ヴォルドンク

『ナイン・フィンガー Nine Finger』

岡田利規が観どころを語る

MUSIC 14 埼玉会館ニューイヤー・コンサート

ウィーン・MARO・アンサンブル

MUSIC 16 ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.12

フランチェスコ・トリスターノ・シュリメ

MUSIC 18 シリーズ 小菅 優の現在 Vol.1 デュオ&トリオ

小菅 優 インタビュー

20 EVENT CALENDAR & TICKET INFORMATION

イベント・カレンダー 2009.11.15-2010.1.31
前売りチケット発売情報(～2010.1.15)
発売中公演情報

23 THEATER BRIDGE

募集など劇場からのご案内

24 劇場に遊ぶ、劇場で出会う

表紙: CONCERT SEASON 2009-2010 [写真撮影] Aymeric Giraudel 大窪道治 Shintaro Shiratori 堀田正矩 三浦興一

裏表紙: さいたまネクストシアター「真田風雲録」権古風景 © 宮川舞子

編集: 佐藤優 © (財)埼玉芸術文化振興財団 Published on 15.NOVEMBER 2009 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation

No.24

束芋 © 稲垣尚志

© 船野晋司

© Herman Sorgeloos

岡田利規 © Nobutaka Sato

© Aymeric Giraudel

© 青柳 聡

© 大窪道治



【演出】『寛容のオルギア Olympe (Tobacco)』(2009年1月初演)【構成・演出・振付・舞台美術】ヤン・ファープル
【出演】リン・アダム・クリスティアン・バカロフ・カタリナ・ビストロヴィチ・ダニエル・ヴァス・アナベル・シャンボン
セドリック・シャロン・イヴァナ・ヨゼク・ヨハン・ナヴォジエック・トニー・リッツィ・カスパー・ファンテンベルグ
6月26日(金)28日(日) 彩の国さいたま芸術劇場大ホール

たばこも1975年兵庫生まれ。京都造形芸術大学卒業。卒業制作として手がけた「へっぽんの台所」で、キリンコンテンポラリー・アワード99最優秀作品賞受賞。最年少で招聘された横浜トリエンナーレ(2001年)を始め、サンパウロ・ピエンナーレ(02年)、シドニー・ピエンナーレ(06年)、ヴェネチア・ピエンナーレ(07年)など国際的に活躍。日本を代表するビデオ・インスタレーション作家の一人。今年12月から横浜美術館で「断面の世代」を開催予定。

ヤン・ファープル『寛容のオルギア』6月26日公演より

束芋

私の作品を海外に持って行くと「モンティ・パイソンから影響を受けているのか」とよく聞かれる。そう言われて初めて彼らの作品を観て、きつとテリー・ギリアムのアナログなアニメーションの感じが似ているということなのだろうと、その時は思った。私には英語のニュアンスも掴めないもので、本当の意味で理解することをすぐに諦めてしまった。

モンティ・パイソンそのものを観て感じられなかった制作の共通点を『寛容のオルギア』を観て感じた。とても光栄なことだと思っただ。それは何よりもこの舞台を存分に楽しんだ自分がいたからだ。強烈すぎるほどの表現のボールを全力で舞台上から投げつけてくるこの作品は、それを想定してなかった私にとって、椅子に座って舞台を観たということが信じられないほど体力を消耗した。作品を観たあと、私たちはヤン・ファープル氏の提示する「寛容する」という言葉の意味を全力で考えなくてはいけない。受け取ったボールを再び舞台上に戻すことは、そう簡単にはできない。

私はモンティ・パイソンを観て、そこから直接影響を受けたとは言えないけれども、彼らの確立された方法論を取り入れてきた『寛容のオルギア』のような上質な作品から影響を受けてきたに違いない。

ヘンリー六世

Henry VI



バーネットの戦い(薔薇戦争)の図

河合祥一郎

Kawai Shoichiro

戦わぬ王 vs 2人の女戦士。

『ヘンリー六世』に見る、もうひとつの戦いの構図

百年戦争に薔薇戦争。
権力闘争に明け暮れる男どもにまじって、
舞台では2人の女戦士が異彩を放つ。
さらにいえば、タイトルロールの
ヘンリー六世との対照が、
この芝居のおもしろさを際立たせている。
今回の構成を手がけた
河合祥一郎先生が指南する、
『ヘンリー六世』のもうひとつの戦いとは――。

上のガラスはヨーク王家を描いた
カンタベリー大聖堂のステンドグラス

戦おうとせぬ王は超越的な英雄

ケンブリッジ大学には、キングズ・カレッジや
クィーンズ・カレッジといったさまざまなカレッジ
(学寮)があるが、その「キングズ・カレッジ」を建
てた「キング」とはヘンリー六世であったというこ
とをご存じだろうか。では、クィーンズ・カレッジ
は？ オックスフォード大学の Queen's College



と違って、ケンブリッジ大学は Queens' College と女王が複数形である
ことをご存じだったら、あなたもケンブリッジ通だ。そしてその複数
の女王とは、ヘンリー六世の妃マーガレットと、その敵であるエドワ
ード四世の妃エリザベス(グレー夫人)の2人なのである。最初に赤薔薇
のマーガレットがクィーンズ・カレッジを建てたのだが、「クィーンは私
だ」とばかり、続いて王妃となった白薔薇のエリザベスがそれを建て直
したのだ。ランカスター家のクィーンとヨーク家のクィーンの意地の張
り合いが、カレッジ名の複数形として今も残っているのである。

ヘンリー六世は他にも名門イートン校を建て、国の教育に力を注い
だ。学問と宗教が好きで、戦うことを嫌った王だったが、今でこそ賞
賛に値するその資質は、中世においては男らしくない弱さと見なされ
た。生後9カ月で王位についた「戦わぬ王」のもと、政治は乱れ、や
がてイングランドはフランスの領土を次々に失い、求心力を失ってい
ったのである。

百年戦争と薔薇戦争を描くこの壮大な芝居の中で、戦おうとせぬ王

はいかにも弱々しく見えるだろう。だが、大勢が氣勢を上げて戦に身を
投じるなかで、唯一人、殺し合いの愚かしさを認識しているという超越
性は英雄的ですからある。戦が終わってくれるなら、たとえ赤薔薇がしお
れ、つまり自分の家が滅亡し、白薔薇が満開になってヨーク家の世に
なってもいいと考えるヘンリーは、非暴力と祈りを頼る聖人なのだ。

「女の皮をかぶった虎の心」

これと明らかな対照をなすのが、ヘンリーの凄
まじい妃マーガレットだ。『ヘンリー六世』三部作
に続く『リチャード三世』まで視野に収めれば、
マーガレットの凄まじさの全貌が見えてくる。手
前味噌で恐縮だが、『リチャード三世』を私が翻
案した『国盗人』で白石加代子さん演じる「呪い
の女。こそマーガレットにほかならない。夫と息子を殺され、王権も奪
われたことを呪うためにだけに登場する、まさに「呪いの女」だ。その
呪いの激しさを念頭においたうえで、マーガレットが『ヘンリー六世』
で美しく無垢な少女(史実では15歳)として登場するところから見直せ
ば、この歴史絵巻の皮肉さがよくわかるだろう。



サフォーク公爵ウィリアム・ド・ラ・ポールに見染められ、ヘンリー六

世の心も掴んでその妃となったマーガレットは、若くして男勝りの野心家だった。王妃の座についてからは、王を蔑ろにして恋人サフォークとともにイングランドを牛耳ろうとし、目ざわりな摂政夫人エリナーを追放させ、摂政グロスター公爵を暗殺させて権力の掌握を図る。その結果、サフォークを殺され、その首を抱いて嘆くはめに成るが、それでおとなしくなるような女ではない。ヨーク公リチャードが王位継承権を主張して、薔薇戦争(1455～1485)を起こしたとき、白薔薇のヨーク家に抗って赤薔薇のランカスター家を守ろうと奮闘したのはヘンリーではなくマーガレットだった。息子である王子エドワードの廃位に同意した夫をなじて挙兵し、しかも勝ちを収めるのである。

シェイクスピアはマーガレットの非情さをかなり強調して描いている。敵の総大将であるヨーク公を捕え、その息子ラトランドの血に染まったハンカチをつきつけて、息子を殺してやったからこのハンカチで涙を拭えと笑い、紙の王冠をかぶせてさんざんぶったうえに殺す。まるで殺人を楽しむリチャード三世の女版であるかのようだ。ヨーク公がマーガレットに投げつける「女の皮をかぶった虎の心」というセリフは特に有名である。

配役の妙で楽しみは倍増する

サフォークやヘンリー六世の男心を溶かして夢中にさせつつ、やがて女の皮の下から凄まじい欲望の牙を剥き出しにするマーガレットは、フランスからやってきたファム・ファタール(魔性の女)だ。そして、この劇にはもう1人、ファム・ファタールと言うべきフランス娘がいる。神のお告げを聞いてフランスを救うべく立ちあがり、フランス皇太子シャルルの心を溶かした17歳の羊飼いの娘ジャンヌ・ダルクだ。英国軍に包囲されたオルレアン市を解放し、奇跡的にフランスに勝利をもたらすが、やがて英国軍に捕らえられ、19歳の若さで焚刑に処せられた実在の人物である。



その歴史的背景となった英仏の百年戦争は、エドワード三世——この王の四男の家系ランカスター家と三男の家系ヨーク家がのちに争うことになるわけだ——がフランスに挑戦状を送りつけた1337年に始まり、戦の英雄ジョン・トールボットが殺された1453年に終わる。劣勢だったフランス軍が攻勢に転じたのは、まさにジャンヌの活躍のおかげであり、だからこそジャンヌは歴史物語のヒロインとして語られることが多い。ジョージ・バーナード・ショーの劇『聖女ジョーン』しかり、ジャン・アヌイの劇『ひばり』しかり、リュック・ベッソン監督の映画『ジャンヌ・ダルク』しかり。ところが、シェイクスピアはジャンヌを魔女として描いてみせた。不思議な力を持ち、トールボットをさえ打ち負かした——史実ではジャンヌはトールボットより22年も先に死んでいるので、これはシェイクスピアの脚色だが。まさに英国を混乱に陥れたファム・ファタール(魔性の女)というべき存在だ。当時の英国から見たら、これほど恐ろしい存在はなかっただろう。

百年戦争の最後を戦ったジャンヌ・ダルクも、薔薇戦争を戦ったマーガレットも、イングランドを支配しようと兵を率いて(一時的ではあれ)勝利する女戦士であり、戦おうとしない平和主義のヘンリー六世とははっきりと対照をなす。だから、この2人を1人の女優が演じるには演劇的な意味があるのだ。ロイヤル・シェイクスピア劇団(RSC)の『ヘンリー六世』公演では、2000～1年にフィオナ・ベル、2008年にケイ・ステイブンズが、この2役を演じて共に成功を収めており、この配役のおもしろさはお墨付きだ。ジャンヌからマーガレットへの変貌ぶりも見逃せない。戦わぬ孤高の王を相手に、2人のファム・ファタールはどんな戦いぶりを見せてくれるだろうか。それを今回、上川隆也さんと大竹しのぶさんで観られるのだから、観客は幸せだ。幕の上がるのが今から待ち遠しい。



河合祥一郎 Kawai Shoichiro

英文学者。東京大学英文科卒。同大学院博士課程とケンブリッジ大学博士課程修了、両大学より博士号取得。東京大学准教授。日本シェイクスピア協会委員、国際演劇評論家協会会員。著書に『謎解き「ハムレット」』、『ハムレットは太っていた!』(サントリイ学芸賞受賞)、『シェイクスピアは誘う』、『シェイクスピアの男と女』、『Hot Quests After the English Renaissance』(共著)など。戯曲に『国盗人』、『TANJIN〜イングリッシュ・サムライ』(共同執筆)。

The Hundred Years War / La Guerre de Cent-Ans 【百年戦争】

フランスのフィリップ四世の娘で、イングランド国王エドワード二世に嫁いだイザベルの息子エドワード三世がフランスの王位継承権を主張したことから始まった英仏間の戦争(それ以前からも英仏の争いの背景はあった)。1337年ごろから100年以上、1453年、イングランド軍がカレー地域を除くほとんどの大陸領地を失い、戦争は終結した。



クレシーの戦いの図



ボワティエの戦いの図

Wars of the Roses 【薔薇戦争】



百年戦争の英雄エドワード三世の五男で初代ヨーク公の孫、三代ヨーク公リチャード・プランタジネットは王位を要求するが、ヘンリー六世の王妃マーガレットは認めない。そのため、1455年、貴族たちは、白薔薇を紋章としていたヨーク家と、ヘンリー側のランカスター家の赤薔薇に分かれ、王位をめぐる内戦が始まる。1461年、亡きヨーク公リチャードの長男エドワードが王妃軍を破り即位。その後、戦局は急変、ヘンリー六世が復位するが、エドワードの弟リチャードの反攻で再びヨーク家が勝利する。その後リチャード三世を打ち破ったヘンリー・チューダーがヘンリー七世として即位、ヨーク家のエドワード四世の長女エリザベスと結婚、赤薔薇と白薔薇が一つになり、30年にわたった内戦は1485年終止符を打った。



ボズワースの戦いの図

Cast



上川隆也

1989年より本年7月まで演劇集団キャラメルボックスに在籍し、数多くの作品に出演。95年NHKドラマ『大地の子』主演を皮切りに映像でも活躍。近年の主な出演作に、舞台『ウーマン・イン・ブラック』『その男』『蛮幽鬼』、TVドラマ『白い巨塔』『功名が辻』『赤鼻のセンセイ』、映画『泉の城』『バコと魔法の絵本』『私は貝になりたい』など。蜷川幸雄演出作品には08年の『表裏源内娃合戦』以来、2度目の出演である。



大竹しのぶ

1975年に映画『青春の門 筑豊編』でデビュー。その圧倒的な存在感から世代を超えた支持を受け続け、舞台、映画、TV、音楽等ジャンルを問わず相次いで話題作に出演し、主要な演劇賞を多数受賞。蜷川幸雄演出作品では、『メディア』『マクベス』『エレクトラ』『バンドラの鐘』に出演。近年の主な出演作は『グレイ・ガーデンズ』『ザ・ダイバー』『桜姫』『女教師は二度抱かれた』『スウィーニー・トット』など。



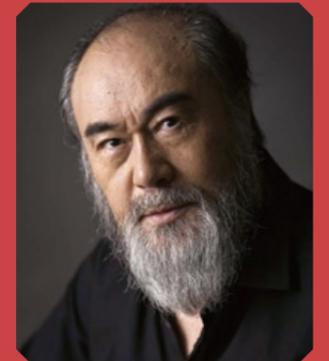
高岡蒼甫



長谷川博己



吉田鋼太郎



瑛川哲朗



公開対談シリーズ第20回
NINAGAWA 千の目

麻実れい 蜷川幸雄

彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督・演出家

蜷川演出によるギリシャ悲劇やシェイクスピア劇で世界の舞台を経験した麻実れいさん。対談時は蜷川演出による9時間の超大作の稽古真っ只中。お話は宝塚の男役から女性の役へと切り替えるご苦労から、世界の舞台の思い出まで。麻実さんの伸びやかな演技そのままの、さすがらしい対話となりました。

YUKIO NINAGAWA × REI ASAMI

蜷川(以降N) 麻実さんには、今「コスト・オブ・ユートピア」という9時間の芝居に出ています。久しぶりに一緒に、何かうまくいった、何があったのかという感じで、伸び伸びと自由に演じていらしゃいます。なぜ僕と仕事しなくなっからうまくなったのかを聞こうと思います。外国の演出家ともよくお仕事をしていますよね？

麻実(以降A) そうですね。宝塚退団後は、何年か外国からいらした演出家に稽古をつけていただきました。それまで演出家というのは動きをつけてくださるものだと思っていました。初めて蜷川さんとお仕事をした時から、役者というものは自分で作ってきたものを稽古場でまず見せる、そして足りないものは演出家からいただけるし、余分なものは排除していただくという関係性と

「麻実さんがセリフを言うと、日本が雄大な国に思える。とても存在感がさすが、誇らしい」(蜷川幸雄)

いのがわかり、最近は自分でこうしたいなと思うものを出して。演劇人生の後半に蜷川さんと出会ったことが最大の刺激で、うれしくて、楽しくて。土台としてそれがあったからどんな演出家と組んでも、余分な緊張はなくなりました。

蜷川さんの稽古場では“拾い屋”

N このごろ実に自由ですね。立ち稽古の初日に、「麻実さん、うまくなったね」と言ったら、当然だという顔をしていた。

A いいえ、そんなこと(笑)。何もおっしゃってくださらないから、そういう一言が天使のささやきのようにうれしくて。今でも若い役者さんたちより不器用だし。

N 説明すると、何かダメ出しをしにいきますね。その日は変になります。でも、翌日になるとがらんと変わる。

A 私のところで止められないでしょ。3日後はどうかクリアでき、それ以来「3日待ってください」というのが私のお願いです。蜷川さんのお稽古場では、拾い屋です。言ってくださらないから、他の方に要求するものを拾うのです。

N 不思議な人で、空間がゆったりとしていて、大きい。

A 本当はぼーっとしているだけなのですが。

N いいえ。麻実さんは、空気が澄んだり揺らいだりします。外国の演出家が麻実さんと仕事をしたがるのは、当然だと思います。

宝塚の男役を卒業してから

A 私は宝塚の男役上がりですから、退団してから女を演じるときにはまず無性化させます。性別なしで作る。私の作り方は歌舞伎のおやまさんの作り方をするのかと思います。

N 自分が表現するものがどういうふうに見えるかということについて、すごく自覚がある。余計な動きがないし、やわらかく見せながら計算が行き届く美しさがある。『桜の園』の時は、間抜けな抜けているところがあって、それがおかしかった。

A 「麻実さん、ラネーフスカヤびったりだよ」とおっしゃって、うれしくてしょうがなく、2日後に「ラネーフスカヤって、ばかだよ」と。褒められているのか、けなされているのか(笑)。

N 愛らしくて抜けている、お金の計算もできない女性を説得力があるように演じる日本の女優さんはなかなかいません。宝塚をおやめになって1本目の芝居は何でしたか？

A 『マクベス』。レディ・マクベスです。女優が最終的にやりたいというレディ・マクベスが最初に来てしまいました。皆さんに『マクベス』をさせていただくのよ」と言ったら、ファンの方が男役だと思って喜んで。「違う違う、レディ・マクベス」と言うのがっかり。次に『ハ

ムレット』をします」と言ったら、「オフィーリアではないですね」みたいに言うから「ハムレット」と言ったら大喜び。

ギリシャは最大級の思い出

N 男性の役から女性をやって、違和感はありませんでしたか？

A ありました。でも、良かったと思います。卒業後は非常に強い女を要求されることが多くて、男役としての声の太さとか低さを使えました。ごめんなさい、ストレートプレイが『マクベス』で、ミュージカルが最初でした。『シカゴ』です。ヴェルマ・ケリーという夫殺しのすごい女を。その後、『危険な関係』『双頭の鷲』ほか、いろいろな作品に出演しました。でもやはり『オイディプス王』の稽古場、花園神社、ギリシャと、これは最大級の思い出ですし、『タイタス・アンドロニコス』では、ストラットフォードのロイヤル・シェイクスピアシアターで、演劇の神様が降りて来るような空間でできて、それはそれは、感謝しています。

N アテネの野外劇場はものすごい勾配がきつくて、客席がのしかかるようにあります。そこで存在感をちゃんと伝えることができる女優さんは数少ないと思って、麻実さんをお願いしました。ギリシャの女優みたいで素敵格好良かった。麻実さんがセリフを言うと、日本が雄大な国に思える。とても存在感がさすが、誇らしい。いい劇場があったら、また一緒に世界制覇に行きたいですね。

A はい、夢ですね。(客席から拍手)

N 今度の9時間の芝居も、稽古はみんな一生懸命で、高校生になったように初々しくやっていますね。

A そうですね。稽古場の台の上に立つと、心配とか迷いがすーっと消えて、今すごく楽しいですね。参加できたことがものすごくよかったなと思っています。

N この後は何を？

A 『冬のライオン』を平幹二郎さんと。東京のグローブ座で幕を開けて、北海道以外全国を。『ギリクス』『山の巨人たち』に続けて、また平さんの胸をお借りして。

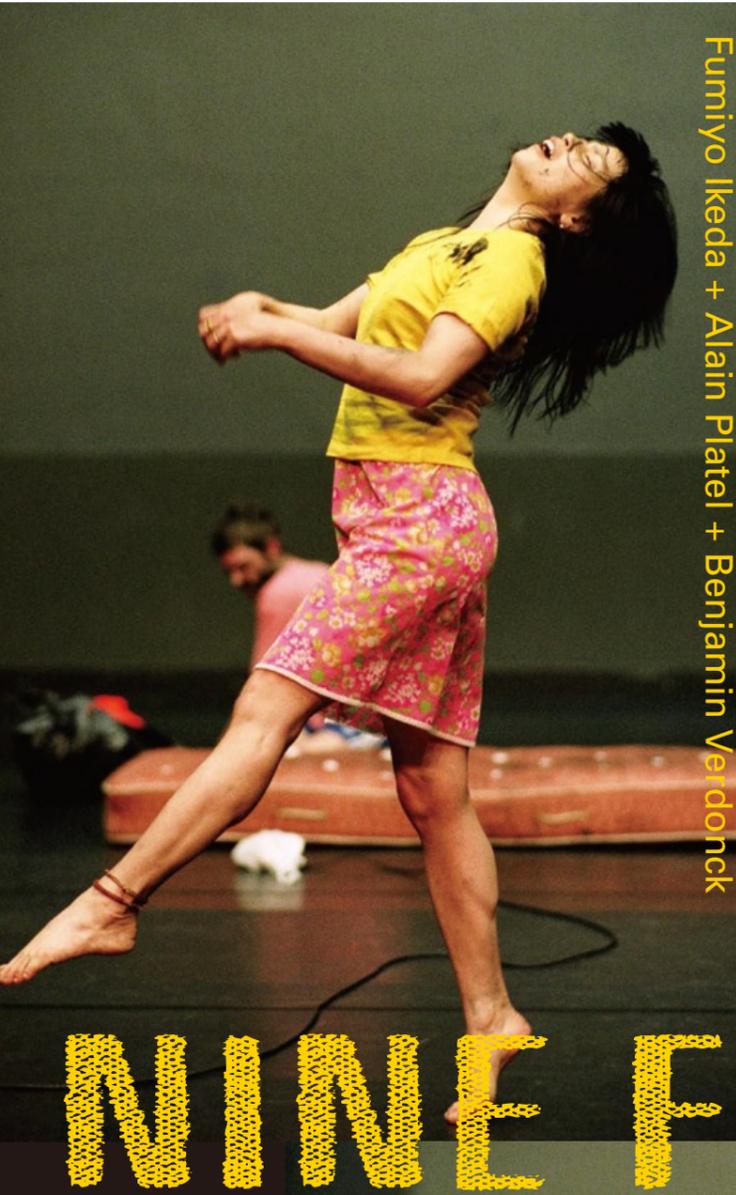
N 楽しみな企画ですね。今日はありがとうございました。

A ありがとうございました。



Profile

麻実れい あさみれい
1970年宝塚歌劇団に入団。80年雪組のトップスターとなり、85年に宝塚を退団。以降、『シカゴ』『マクベス』『メアリー・ステュアート』『イサドラ』『ハムレット』『蜘蛛女のキス』『サラ』『ストーン夫人のローマの春』等ストレートプレイやミュージカルに数多く主演。蜷川演出作品でも『ギリクス』『オイディプス王』『桜の園』『タイタス・アンドロニコス』『コスト・オブ・ユートピア』に出演し、圧倒的な存在感で客席を魅了した。読売演劇大賞最優秀女優賞、芸術選奨文部科学大臣賞など受賞多数。2006年、紫綬褒章受章。



Fumiyo Ikeda + Alain Platel + Benjamin Verdonck



『ナイン・フィンガー』



『ナイン・フィンガー Nine Finger』がいよいよ彩の国に登場する。

その観どころを、今回は独特の身体性で、時にダンス的とも評価され、

コンテンポラリー・ダンスシーンにも影響を与えている、

演劇作家の岡田利規さんに寄稿いただいた。

観客の想像力で現実以上のフィクションとなる

文=岡田利規 [演劇作家・小説家]

『ナイン・フィンガー』は、演劇をめぐるもっとも本質的な問題と今の僕には思えるものへ向かって、思い切り正面衝突しにしているような作品に見える。ところで、僕にとって、演劇をめぐるもっとも本質的な問題であると今思えること、というのはなにか？

演劇というのは、描写しようとする対象——というのは、つまり、状況なり物語なり人物なり、ということであるが——と、それを描写する行為、つまりパフォーマンスとのあいだにズレが生じていることが、常にあからさまであるような表現形式である。舞台上で或る人物を演じるという行為、或る状況なり物語をやってみせるという行為が、そもそも嘘であることを、見る人はみんな分かっていないではいけないということ、と言い換えることもできる。

演劇を作る者は、ときに、この演劇の特質にどう対処するのかということを含めて問われなくては済まないことがある。それは、描写しようとする対象が、僕たちの生きるこの現実社会の、グロテスクな実相——たとえば、戦争のおぞましさ、というようなもの——である場合だ。舞台上で行われている行為が、描こうとしていることそれそのものではない、ということ——つまり、それは演技にすぎないということ——によって、観客に、現実はこの舞台の演技みたいな生やさしいものじゃないだろう、もっと過酷なはずだ、その過酷な現実を、部外者が分かったつもりで演じられると思っているなんて、ずいぶん思い上がりではないか、といった感情を起こしてしまうことがある。

では、その場合、どうしたらいいのだろうか？ 演劇は社会のグロテスクな現実を描こうなどという野心を抱かないのが賢明、ということか？ まさか、『ナイン・フィンガー』は、ナイジェリア系アメリカ人作家、ウゾディンマ・イウェアラの処女小説である『ピース・オヴ・ノー・ネイション(国を持たない野獣たち)』という、ひとりのアフリカの少年兵の目を通して戦争の邪悪さを描いたテキストに基づいて作られた作品だけれども、そうした情報を聞いて容易に想像できるような仕方でも、わたしたち観客に胸をえぐるような思いを『ナイン・フィンガー』という舞台が与えてくれるわけではない。たとえば、戦争という状況で起こる

おぞましい出来事のいくつか、この作品の中では語られるけれども、それは上演時間のほぼ全編にわたって高いテンションを保っている俳優ベンヤミン・ヴォルドンクが、そうしたテキストを激しい身振りを交えながら観客に面と向かって語りかけることによってである場合がほとんどで、戦争の状況が具象的に演じられるということは、ない。もう一人の出演者である池田扶美代が、スタンド・マイクの前で奇矯な声を張り上げているヴォルドンクの傍らで、あるいは、語りと次の語りとのあいだの間奏のようにして、ときに踊るのだけれども、さて、その踊りはいったい何なのか？ 何を表しているのだろうか？ 今まさに語られているテキストが描写する内容そのものを、ダンス的に表現したもの、などでは全然ない。

ところが、テキストとまったく無関係に踊っているように見えるのかといえば、そういうわけでもない。たとえば、彼女が戦争という状況下で起こりうるさまざまな類の暴力の被害者であるように見えてくることがある。もっとも、たとえそんなときでも、その描写は決して具象的なものではない。観客の想像力のはたきを促す、という以上のことを、『ナイン・フィンガー』の上演自体は行わない。あるいは、舞台上の行為は、テキストの内容とまったく無関係なのかもしれない。けれども、僕たち観客は、舞台上の行為と、テキストの内容を、結びつけずにはられない。そのようにして結びつけられてきた生成物、それは、現実にある本物の過酷さに拮抗しうるフィクションだとみなしてもよいのではないか？ その可能性に賭けて上演されるのが、『ナイン・フィンガー』という試みなのだという気がする。その試みは、つまりそれを見るわたしたち観客に投げかけられているのだ。みなさん、観に行きましょう。

Profile

岡田利規 おかだ としき

演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰。05年『三月の5日間』で第49回岸田戯曲賞を受賞。同年7月『クラー』で『トヨタ・コレオグラフィ・アワード』最終選考会にノミネート。07年デビュー小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』を発表し、翌年第二回大江健三郎賞受賞。08年3月最新作『フリータイム』を発表。近年では日本の公共劇場の委嘱作品として安部公房の『友達』やデア・ローアーの『タトゥー』の演出や他劇団への戯曲提供を行う。

Nine Finger Fumiyo Ikeda + Alain Platel + Benjamin Verdonck



池田扶美代 いけだ ふみよ

1979年、モリス・ベジャールのムードラ(ブリュッセル)に入学。同校でアンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルと出会い、83年、ともにローザス結成。以来、ほぼ全ての作品の創作に携わり、出演。またステイーヴ・バクストンの舞台を始め、ジャンルを超えて映画や演劇にも活動を広げる。2009年6月には、イギリスの脚本家・演出家ティム・エッセルとのコラボレーションにより『in pieces』を創作している。



ベンヤミン・ヴォルドンク

王立フレミッシュ音楽院の舞台芸術部門を卒業。俳優として多くの演出家と活動後、2000年以降は、公共空間における演劇の持つ力と機能に集中。ブリュッセルやアントワープの中心地で、広場の樹上に小屋を設置したり、地上32 mの高さに鳥の巣を製作したインスタレーションを発表。一匹の豚と3日間にわたり『対談』し、アメリカイラク間の緊張から生まれる混乱と困惑を表現した作品等も創作している。



アラン・プラテル

1956年、ゲント生まれ。マイムやバレエを学んだ後、カナダ人振付家バーバラ・ピアスのワークショップを受講。1986年、Les Ballets C. de la B.を結成。『パッパと憂き世』、『ウルブ』等の生演奏を用いたダンス作品や演劇作品で高く評価されている。不完全で傷つきやすい人間を作品のスタート地点に、ユーモアや活力、見かけ上の無秩序を通じて際立った作品を作り続ける。

●●●● DANCE ●●●●

池田扶美代+アラン・プラテル+ベンヤミン・ヴォルドンク

『ナイン・フィンガー Nine Finger』

日時] 2010年2月6日(土) 開演 16:00 / 7日(日) 開演 16:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【演目】『ナイン・フィンガー Nine Finger』(2007年初演)

【構成・演出・振付・テキスト】池田扶美代 アラン・プラテル ベンヤミン・ヴォルドンク

【出演】池田扶美代 ベンヤミン・ヴォルドンク

【チケット(税込)】好評発売中

一般:4,000円 学生:2,500円 メンバース:3,600円

ローザス「ツァイトゥング」とのセット券
S席9,000円 / A席8,000円 / 学生A席5,000円

※各日公演終了後、出演者によるポスト・トークあり。

埼玉会館ニューイヤー・コンサート SAITAMA KAIKAN NEW YEAR CONCERT

WIEN MARO ENSEMBLE

FUMINORI SHINOZAKI
 ATSUSHI SHIRAI
 RYO SASAKI
 YO KIGOSHI
 SHINJI NISHIYAMA
 HIROAKI KANDA
 SEIJI YOKOKAWA
 TAKASHI YAMANE
 TAKESHI HIDAKA



ウィーン・MARO・アンサンブル ～篠崎史紀とN響メンバーによるウィーンの調べ～

新しい年の幕開けにふさわしい、恒例の埼玉会館でのニューイヤー・コンサート。今回は、ウィーンの息吹きを私たちに伝えてくれる MARO (篠崎史紀) を迎え、N響メンバーとの楽しいアンサンブルが登場する。2010年のコンサート聴き初めはウィーンの名曲を。

ウィンナ・ワルツで ハッピー・ニューイヤー!

文=奥田佳道 [音楽評論家]

賛辞は尽くされているように見える。でも、あらためて記す。マロ(まる、MARO)さんの愛称で親しまれている篠崎史紀と、楽都ウィーンで生まれたワルツやポルカは、相思相愛である。かの地でも滅多に耳に出来ない、妖艶なウィンナ・ワルツが舞う。洒落た味わいのポルカが届けられる。篠崎と仲間たちのライブは、何もかも特別なのだ。ちょっと褒めすぎだろうか。いや、そんなことはない。CDでマロの艶やかな美音と、遊び心たっぷりの歌い回しに「はまった」ファンも数知れない。ゆえにアンコールの声が絶えない。そう、篠崎史紀こそ、ウィーン音楽演奏の使徒なのだ。古き良き時代のウィーンの息吹を、今に伝え、それを私たちが分かち合うパフォーマンス・アーツの旗手なのである。10代の頃からウィーンに留学し、市立音楽院(コンセルヴァトリウム)で、ハイフェッツの高弟として知られるトーマス・クリスチャンに学んだ。さらに篠崎史紀は、ウィーン演奏史を彩った多くの名匠からレッスンを受け、愛すべきウィーン流儀を身体の内側にまで浸透させている。ユダヤ系の達人やロシアの名手にも可愛がられた。往年のウィーン・フィルをリードしたワルター・バリリやアマデウス・クナルトの面々に認められ、ギトリス、アレンコフらと室内楽に興じた日々。国際コンクール入賞歴も豊富で、協奏曲やソロ・リサイタルも素敵だが、この人は、ソロ同様にインタープレイの精神を愛でる。

交歓の人なのだ。N響での活動に加え、独自の室内楽シリーズを企画。レクチャーコンサート、セミナーを嬉々として主宰し、またNPO法人となった東京ジュニア・オーケストラ・ソサエティの芸術監督を務めるなど、多忙を極める篠崎史紀だが、この人はウィーンの調べのことを忘れない。というよりも、冒頭にも記したようにウィンナ・ワルツと彼は不可分の間柄なのである。華やかなウィンナ・ワルツ、颯爽としたポルカと言えば、1月1日に開催されるウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートを思い浮かべる方も多いことだろう。黄金色の装飾もまばゆいウィーン楽友協会(ムジークフェライン)の大ホールでの演奏は、毎年世界数十カ国に中継される。指揮台に招かれるのは誰か、選曲は、アンコールは何、恒例のスピーチは、会場には誰がいる? とファンは毎年賑やかだ。ステージに、ところ狭しと並んだウィーン・フィルの面々が奏でるシンフォニックなワルツやポルカは、確かに絶品である。しかし、ウィンナ・ワルツはもともと、室内楽から始まったこと、そして言うまでもなくダンス会場の音楽だったことを、ちょっと思い出してもいいかも知れない。ウィンナ・ワルツは、19世紀のはじめ、そう1820年頃、カフェやレストラン、カジノ、ホテルを併設したウィーンのダンス会場で花開いた。

後に宮廷舞踏会楽長を務めたヨーゼフ・ランナー(1801～1843)と《ラデツキー行進曲》を書くヨハン・シュトラウス父(1804～1849)が、洗練されたウィンナ・ワルツの創始者とされる。この2人、もともとは同じバンドにいたのだが、仲違いし、お互いに新バンド(控えめなオーケストラ)を結成。ライバルとなった彼らが1825年以降、新曲発表合戦を繰り広げた結果、ワルツは発展し、音楽は優雅さや味わいを増していったのである。そして、ヨハン・シュトラウス父の息子で、後にワルツ王の異名をとるヨハン・シュトラウス2世(1825～1899)が1844年、シェーンブルン宮殿近くのカジノ・ドムマイヤーに颯爽とデビューし、ウィンナ・ワルツは新時代を迎える。19世紀の後半、ウィーンはオペレッタの街にもなる。ワルツやポルカの演奏は少しずつ大型化していくのだが、しかし弦楽五重奏に四重奏、ギターやクラリネットを交えた室内楽、あるいはサロン風のオーケストラで演奏されるワルツも、楽都のもうひとつの主流だった。新ウィーン楽派のシェーンベルク、ヴェーベルン、アルバン・ベルクもウィンナ・ワルツを室内楽編成に編曲し、嬉々として演奏した。そんなウィンナ・ワルツの歩みや、かの地の流儀を今に映し出すのが『ウィーン・MARO・アンサンブル 篠崎史紀とN響メンバーによるウィーンの調べ』なのだ。夢を紡ぐ篠崎のヴァイオリンはもちろんのこと、管弦の「会話」やアイコンタクトが醸す楽の音も大いなる魅力となる。素晴らしい。おなじみのメロディも、思わずほほ緩む定番名曲も、きっと新鮮に響く。タイトルからして美しいヨーゼフ・ランナーの《シェー

ンブルンの人々》(1842)は、やはり篠崎と仲間たちの妙技で聴きたい。ワルツ王の逸品やクライスラーの「ウィーン三部作」については、ここで言うまでもない。楽都の調べ再発見のニューイヤー・コンサートへ、さあ。

Profile

篠崎史紀 しのざき ふみのり(ヴァイオリン)
 3歳から父・篠崎永育によってヴァイオリンの手ほどきを受ける。高校卒業後ウィーンに渡りT.クリスティアン、I.ギトリス等に師事。帰国後、群馬交響楽団、読売日本交響楽団のコンサートマスターを経て、97年NHK交響楽団にコンサートマスターとして入団。96年から東京ジュニア・オーケストラ・ソサエティ音楽監督を兼任している他、WHO国際医学アカデミー評議員を務める。その風貌から「まる」の愛称で親しまれている。

●●●● MUSIC ●●●●

埼玉会館ニューイヤー・コンサート ウィーン・MARO・アンサンブル ～篠崎史紀とN響メンバーによるウィーンの調べ～

【日時】2010年1月17日(日) 開演 15:00 【会場】埼玉会館 大ホール
 【出演】篠崎史紀(第1ヴァイオリン) 白井 篤(第2ヴァイオリン) 佐々木 亮(ヴィオラ)
 木越 洋(チェロ) 西山真二(コントラバス) 神田寛明(フルート)
 横川晴児・山根孝司(クラリネット) 日高 剛(ホルン)
 【曲目】J.ランナー:宵の明星、シェーンブルンの人々
 F.クライスラー:美しきロスマリン、愛の悲しみ、愛の喜び
 J.ランナー:ロマンティックな人々(以上、弦楽五重奏)
 J.シュトラウス2世:春の声、アンネン・ポルカ、南国のぼら、皇帝円舞曲、美しく青きドナウ(以上、九重奏)

【チケット(税込)】好評発売中
 一般:S席4,000円/A席3,000円/B席2,000円/学生B席1,000円
 メンバース:S席3,600円/A席2,700円

“奇才”と呼ぶにふさわしいピアニスト登場

フランチェスコ・トリスターノ・シュリメにつけられた
キャッチフレーズは「ルクセンブルクの奇才」。
その才能はクラシックシーンを超え、未来を指向する。
まさに21世紀のピアニストの音と感性が彼のなかにある。

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.12

フランチェスコ・トリスターノ・シュリメ

Francesco Tristano Schlimé

文=池田卓夫 [音楽ジャーナリスト]

職業音楽家の世界で、曲をつくる人間=作曲家と、奏でる人間=演奏家が分離したのは20世紀半ばのこと。まだ100年にも満たない。それまで作曲の様式や楽器の形を中心に語られてきた音楽史に、演奏の変遷が加わったのも19世紀末、レコードが発明されて以降のことにちがいない。演奏の巧拙が「伝説」ではなく「事実」として検証できるようになって技の競い合いは激しさを増し、演奏専業で練習に明け暮れる日々が訪れた。古くは18世紀のJ. S. バッハから20世紀のイザイ、ラフマニノフあたりまで、作曲と演奏は車の両輪だった。大バッハは教会や宮廷の楽長としての謹厳な仕事の合間を縫い、ライブツィヒのカフェで学生バンドとのライブを毎週続けた。当然、すべて自作では間に合わないから、ヴィヴァルディら同時代の音楽を自作に編曲するなどして、メニューに彩りを与えていた。

フランチェスコ・トリスターノ・シュリメは技の競い合いが行き着くところまで行き着き、弾く方も聴く方も「もうたくさん」と気づいたとき、トーマス・アデス（ピアノ）やオリムストネン（同）、ファジル・サイ（同）、イェルク・ヴィトマン（クラリネット）らとともに突然変異のごとく、先祖還りを果たしたコンポーザー&パフォーマーの最先端にいる。

これまでに発売されたCDを聴き通してみても、シュリメにとってはフレスコバルディ、バッハからベリオ、自作に至る時代、あるいはコンサートホール、クラブといった演奏の場とジャンルの違いはまったく問題ではないとの思いを強くした。バッハよりも以前に位置するフレスコバルディの場合、譜面は最低限の約束事以上に簡素であり、シュリメがCDに「対話」と名付け、自由な即興を繰り広げるさまこそ、正統だとすら思える。音楽的な筋の良さは、フレスコバルディとバッハの録

音を比べると一層、明確になる。バッハでは“いたずら”を控えめにし、ドイツ固有の構造性をしっかり再現しつつ、瞬間瞬間に新しい命を吹き込む。その手腕は20世紀イタリアの作曲家ベリオに立ち向かうとき、表向き抽象的な音符の連なりのなかに、イタリア人がフレスコバルディ以前の時代から大切にしてきた歌心=カンタービレの滴をすくい上げる場面にも際立つ。見方を換えれば、すべてはシュリメという一つの統合された人格が「媒体」として機能し、異なる時代や文化圏、国籍、ジャンルの音楽をクロスオーバーさせ自由自在な音楽言語を生成しているのである。

そう認識していたにもかかわらず、彩の国さいたま芸術劇場での演奏曲目が送られてきた瞬間、大いに驚いた。バッハ、ハイドン、ドビュッシーはもちろん、鍵盤音楽の歴史における最も重要な作曲家たち。そ

の3人の小品ではなく、構えの大きな作品ばかり並べる度胸はもちろんのこと、筆者には未知の米国デトロイト生まれのテクノ・ミュージックのプロデューサーにしてDJ、カール・クレイグ（1969～）のその名もずばり《テクノロジー》という音楽をシュリメ自身の編曲で挿入する発想の斬新さに、ただただ圧倒された。

まずはコンポーザー&パフォーマーの大先輩、バッハだが、彼の鍵盤音楽は厳格で宗教的な作品だけでなく、家庭内の教材、あるいは自身の華麗な演奏技巧のアピールなど、様々な目的で書かれている。《パルティータ》は純粋にピアニスティック（というと、現代のピアノを想起してしまうが、ここでは指の技のデモンストレーションの意味で敢えて使う）な作風のなかに教育の効用も意図された傑作。なかでも「第2番」から浮かび上がる豊かな楽想は、音楽がより個人的な感情表現へと向かった後の時代を完全に先取りしている。ハイドンもまた、「一定の調性と構成で特定の感情を表現する」といった18世紀音楽の約束事から踏み出し、一つの楽章のなかでも刻々と変化する感情を細大漏らさず音楽に変換できた点で、19世紀への橋渡し役を担った作曲家だった。ドビュッシーはモネの絵画などとの対比から、長く「印象派」の一言で片付けられてきた。だが、バッハの《平均律クラヴィーア曲集》以来の前奏曲の歴史と形式を踏まえつつ、20世紀の幕開けにふさわしい大胆さで自然や人間を描写した《前奏曲集》からはもっと直截で、生々しい作曲家像を感知できる。それぞれが時代の枠を超え、永遠の存在と化したクラシックの作曲家3人にクレイグのテクノがからむとき、私たちは何を感じ、眺めるのだろうか。興奮は、今から始まっている。

Profile

フランチェスコ・トリスターノ・シュリメ Francesco Tristano Schlimé (ピアノ)
1981年ルクセンブルク生まれ。王立ブリュッセル音楽院、パリ音楽院を経て、ジュリアード音楽院に留学。2000年プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル交響楽団でアメリカ・デビュー。04年オルレアン20世紀音楽国際ピアノコンクール優勝。ヨーロッパ・コンサートホール・オーガニゼーション07-08「ライジング・スター」アーティストとして、ヨーロッパ各地でリサイタルを開催。即興演奏や作曲も手掛け、幅広いジャンルで才能を発揮している。

●●●● MUSIC ●●●●

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.12 フランチェスコ・トリスターノ・シュリメ

【日時】2010年2月20日(土) 開演 14:00
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
【曲目】ドビュッシー：前奏曲集 第1巻
J. S. バッハ：パルティータ第2番 八短調 BWV826
クレイグ(シュリメ編曲)：テクノロジー
ハイドン：ピアノ・ソナタ 八長調 Hob.XVI:48

【チケット(税込)】好評発売中
一般：S席3,500円/A席2,500円/学生A席1,000円
メンバーズ：S席3,150円

素晴らしい共演者との出会いを、 私自身も楽しみたい

「まさに」自分の作曲家“と思える”大好きなシューマンを軸に、小菅優と豪華共演者がおくる、デュオ&トリオの豊かな世界——
3年にわたるシリーズ『小菅優の現在』の幕開けを前に、その抱負を小菅さんに語っていただいた。



Interview 小菅 優

Yu Kosuge

取材・文=山野雄大

彩の国さいたま芸術劇場ではじまるシリーズ『小菅 優の現在』では、私がほんとうに大好きなシューマンを軸に聴いていただきます。まさに“自分の作曲家”と思える人ですし、本当に素晴らしい共演者の皆さんをお迎えして、私にとっても勉強になるし愉しめるコンサートになると思います。

私はドイツ暮らしが長く、いちばんよく分かる言葉がドイツ語で……まあ頑固で理屈っぽい言葉ですけど(笑い)、それがドイツ・オーストリアの作曲家たちにもよく表れていると感じます。中でもシューマンは、柔らかみをもった詩的な部分が強くありますね。このシリーズでは、そんな彼の音楽を軸にいろいろバランスを考えながら、シューマン自身と同時代、そして次の世界、あるいはシューマンが振り返って探究した過去、という3つの時期を多角的に聴いていただきたいと考えています。

3月に開催されるVol.1では、ラデク・バボラークさん[ホルン、03年からベルリン・フィル首席ホルン奏者]と豊嶋泰嗣さん[ヴァイオリン]が共演していただきます。バボラークさんとは、小澤征爾先生がベルリン・フィルを指揮された後に皆で食事をしたときに紹介いただいたのがお会いした最初でした。バボラークさんの演奏を聴いてすごく感激して、コンサートの後に飛んでいってずっと話し込んだり……。水戸室内管弦楽団[バボラークも出演] ミュンヘン公演終演後のパーティでお会いしたとき、彩の国さいたま芸術劇場で今度こういうコンサートを考えてるんだけど……って出演を打診したら快くOKしてくださって。実はホルンと共演するのは今回が初めてなんですけど、いきなりすごい人と(笑い)。でもすごく気さくで冗談ばかり言っていて、とても楽しい方です。

豊嶋泰嗣さんは新日本フィルのコンサートマスターとしてのご活躍はもちろん、水戸室内管弦楽団などいろんなところでお会いしています。とても素晴らしいヴァイオリニストですよ。今年の夏もサイトウ・キネ

Profile

小菅 優 こそげ ゆう (ピアノ)

高度なテクニックと美しい音色、深い楽曲理解と若さ感性で現在最も注目を浴びている若手ピアニストの一人。2005年カーネギーホールでのリサイタルでニューヨーク・デビュー、06年ザルツブルク音楽祭でリサイタル・デビュー、09年には小澤征爾指揮水戸室内管と共演するなど国内外でその活躍の場を広げている。これまでにソニーより9枚のCDをリリースしており、いずれも好評を博している。



ラデク・バボラーク Radek Baborák (ホルン)

1976年チェコに生まれる。94年、ミュンヘン国際コンクールで優勝。それ以来、ヨーロッパ、アメリカなど各地で活発な演奏活動を展開。[完璧な演奏]、「ホルンの神童」と評される世界的なホルン奏者。これまでチェコ・フィル、ミュンヘン・フィル、バンベルク管のソロ・ホルン奏者を歴任。2003年からはベルリン・フィルのソロ・ホルン奏者に就任。現在の使用楽器は、「アレキサンダー103」。



豊嶋 泰嗣 とよしま やすし (ヴァイオリン)

1986年、桐朋学園大学卒業と同時に新日本フィルのコンサートマスターに就任し楽壇デビュー。その後もサイトウ・キネン・オーケストラ等でコンサートマスターを務め、指揮者、オーケストラからの信頼も厚い。現在、新日本フィルと兵庫芸術文化センター管弦楽団のコンサートマスターを兼任。ソリストとして、また室内楽でも活躍している。使用楽器は1719年製 アントニオ・ストラディヴァリウス。



ン・フェスティバル松本に出演したので、小澤征爾先生の指揮するコンサートもずっと聴いていたのですが、豊嶋さんがブラームスの《交響曲第2番》でコンサートマスターをつとめられて、これが本当に素晴らしく、感動して涙がとまらなかった。

このお2人と共演する3月の演奏会では、まず前半でバボラークさんのご提案で、シューマンよりずっと後のリヒャルト・シュトラウスと、そのお父さんのホルン奏者フランツ・シュトラウスの曲を演奏します。お父さんのほうはほとんど知られていませんが、いかにもホルン奏者!(笑い)

シューマンからはまず、バボラークさんとの共演で《アダージョとアレグロ》。この曲、実は珍しいファゴット編曲版をドイツで録音したことがあって、先日はよく演奏されるチェロ版も堤剛先生と共演させていただきました。でも、オリジナルであるホルン版は今回が初めてなんです。アダージョのホルンなど、アルプスの広がりやイメージさせてくれますよね。ピアノはすごく難しいんですけど。そして豊嶋さんとの《ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第1番》。シューマンの作品でも室内楽、特に後期の作品には、彼の繊細な部分はもちろん楽器同士の対話のすごさがよく出ていますし、つねに何かを憧れ求めているようなシューマンの魅力をじっくり楽しんでいただけたらと思います。

そして、シューマンが親しく支援し続けた後輩ブラームスの《ホルン三重奏曲》も演奏します。最近、特にブラームスは今の自分に合っていると感じてよく取り上げるんです。この曲のハーモニーの素晴らしさにも、ドイツやオーストリアの広大な風景を想像させるところがあるかも知れません。名曲ですがなかなか演奏機会がありませんから、すごい奏者との共演はお楽しみいただけると思いますし、私も素晴らしいホールでのコンサートを本当に楽しみにしています。

●●●● MUSIC ●●●●

シリーズ 小菅 優の現在 Vol.1 デュオ&トリオ

【日時】2010年3月20日(土) 開演 14:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【出演】小菅 優(ピアノ) ラデク・バボラーク(ホルン) 豊嶋泰嗣(ヴァイオリン)

【曲目】R. シュトラウス:前奏曲、主題と変奏 TrV 70

R. シュトラウス:アンダンテ ハ長調 TrV 155

F. シュトラウス:主題と変奏 作品13

F. シュトラウス:ロマンス

シューマン:アダージョとアレグロ 変イ長調 作品70

シューマン:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第1番 イ短調 作品105

ブラームス:ホルン三重奏曲 変ホ長調 作品40

(演奏順未定)

【チケット(税込)】好評発売中

一般:S席4,000円/A席3,000円/学生A席1,500円

メンバーズ:S席3,600円/A席2,700円

EVENT CALENDAR 2009.11.15-2010.1.31

11 November	
15 日	EXHIBITION 彩の国さいたま芸術劇場開館15周年記念展 (2010年2月1日(月)まで) 会場=彩の国さいたま芸術劇場 ※詳細はP.23にて CINEMA 『“生きる”というを考えるドキュメンタリー作品集』 A:『精神』 B:『いのちの作法 沢内「生命行政」を継ぐ者たち』 上映時間 10:30B / 13:50A / 17:45B ※13:50上映終了後、地元精神科医によるアフタートークがあります。
16 月	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
17 火	
18 水	
19 木	
20 金	
21 土	DANCE 埼玉県障害者アートフェスティバル 近藤良平と障害者によるダンス公演 『突然の、何が起るかわからない』 開演 15:00 ※詳細はP.22にて
22 日	CINEMA 『埼玉産映画』上映会 A:『ソロコンテスト』 B:『SR サイタマノラッパー』 上映時間 10:30A / 11:30B / 13:50A / 15:20B / 17:30A / 18:30B ※13:50上映終了後、『ソロコンテスト』下條岳監督によるアフタートークがあります。 ※詳細はP.22にて DANCE 埼玉県障害者アートフェスティバル 近藤良平と障害者によるダンス公演 『突然の、何が起るかわからない』 開演 15:00
23 月・火	CINEMA 『埼玉産映画』上映会 A:『ソロコンテスト』 B:『SR サイタマノラッパー』 上映時間 10:30A / 11:30B / 13:50A / 14:50B / 17:30A / 18:30B ※14:50上映終了後、『SR サイタマノラッパー』入江悠監督によるアフタートークがあります。
24 火	
25 水	
26 木	
27 金	DANCE ローザス『ツァイトウング』 開演 19:30 ※公演終了後、アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルによるポスト・トークがあります。 ※詳細はP.22にて
28 土	MUSIC ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.11 福岡 洗太朗 開演 14:00 ※詳細はP.22にて DANCE ローザス『ツァイトウング』 開演 16:00
29 日	DANCE ローザス『ツァイトウング』 開演 16:00
30 月	DANCE ローザス 池田扶美代 ダンス・ワークショップ 開始時間 13:30 ※要申込み ※詳細は財団ホームページにて
12 December	
1 火	
2 水	臨時休館日(埼玉会館)
3 木	
4 金	
5 土	MUSIC レ・ヴァン・フランセ 開演 15:00 ※予定枚数終了いたしました
6 日	
7 月	
8 火	MUSIC 小澤征爾&新日本フィルハーモニー交響楽団 開演 19:00 ※予定枚数終了いたしました
9 水	臨時休館日(埼玉会館)
10 木	
11 金	CINEMA 彩の国シネマスタジオ『愛を読むひと』 上映時間 11:55 / 15:40 / 18:50 ※11:55上映終了後、石子順によるアフタートークがあります。 ※詳細はP.22にて
12 土	CINEMA 彩の国シネマスタジオ『愛を読むひと』 上映時間 9:50 / 13:20 / 16:20 / 19:30
13 日	CINEMA 彩の国シネマスタジオ『愛を読むひと』 上映時間 10:00 / 13:40 / 16:50
14 月	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
15 火	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
16 水	
17 木	
18 金	
19 土	

20 日	PLAY 源氏語り五十四帖 第52回「蜻蛉」 開演 14:00 ※詳細はP.22にて
21 月	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
22 火	
23 水・木	MUSIC 彩の国さいたま芸術劇場アフタヌーン・クリスマス・コンサート シエナ・プラス5 (金管五重奏) 開演 14:00 ※詳細はP.22にて
24 木	
25 金	
26 土	
27 日	
28 月	
29 火	休館日(全館)
30 水	休館日(全館)
31 木	休館日(全館)
1 January	
1 金	休館日(全館)
2 土	休館日(全館)
3 日	休館日(全館)
4 月	
5 月	
6 月	
7 月	
8 月	
9 月	
10 月	
11 月	
12 火	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
13 水	
14 木	
15 金	CINEMA 彩の国シネマスタジオ 優秀映画鑑賞推進事業 A:『青い山脈』 B:『また逢う日まで』 C:『野火』 D:『ぼんち』 上映時間 12:20A / 16:20B / 19:15C ※詳細はP.22にて
16 土	CINEMA 彩の国シネマスタジオ 優秀映画鑑賞推進事業 上映時間 9:50D / 13:00B / 15:45C / 18:35A
17 日	CINEMA 彩の国シネマスタジオ 優秀映画鑑賞推進事業 上映時間 9:50A / 14:20C / 17:45D ※14:20上映終了後、田島良一氏によるアフタートークがあります。 MUSIC 埼玉会館ニューイヤー・コンサート ウィーン・MARO・アンサンブル ～篠崎史紀とN響メンバーによるウィーンの調べ～ 開演 15:00 ※詳細はP.14～15にて
18 月	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
19 火	臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)
20 水	
21 木	
22 金	
23 土	MUSIC 光の庭プロムナード・コンサート ～典雅なるバロック～ 開演 14:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 情報プラザ ※入場無料 出演=ジャン・フィリップ・メルカールト(オルガン) 西谷尚己(ヴァイオリン・ダ・ガンバ) 曲目=N.d. グリニ:レシ・ドゥ・ティエリス・アン・タイユ ほか DANCE 彩の国バレエ・ガラ ブベニチェクとドレスデン国立歌劇場バレエ団の俊英たち 開演 15:00 ※詳細はP.21にて
24 日	PLAY 源氏語り五十四帖 第53回「手習」 開演 14:00 ※詳細はP.22にて DANCE 彩の国バレエ・ガラ ブベニチェクとドレスデン国立歌劇場バレエ団の俊英たち 開演 15:00
25 月	
26 火	
27 水	
28 木	
29 金	CINEMA 彩の国シネマスタジオ『ディア・ドクター』 上映時間 14:35 / 18:20 ※14:35上映回は、音声ガイドがつきます。 ※詳細はP.22にて
30 土	CINEMA 彩の国シネマスタジオ『ディア・ドクター』 上映時間 9:50 / 13:15 / 16:15 / 19:30 PLAY 彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ～新春東西落語競演会 開演 14:00 ※詳細はP.22にて
31 日	CINEMA 彩の国シネマスタジオ『ディア・ドクター』 上映時間 10:00 / 13:45 / 17:45 ※13:45上映終了後、田島良一氏によるアフタートークがあります。

3才以上のお子さんから楽しんでいただける公演です。光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

前売りチケット発売情報(～2010.1.15)

DANCE

彩の国バレエ・ガラ
ブベニチェクとドレスデン国立歌劇場
バレエ団の俊英たち

今、熱い注目を浴びる新生ドレスデン・バレエ団の
選抜ダンサーたちとブベニチェク兄弟が贈る、
ヨーロッパ現代バレエの新しい息吹



イリ・ブベニチェク ©Costin Radu

チケット発売日
一般:11月27日(金) メンバーズ:11月22日(日)

日時=2010年1月23日(土)、24日(日) 各日開演 15:00
会場=彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
出演=イリ・ブベニチェク オットー・ブベニチェク ギャ・アルブイ
カテリーナ・マルコフスカヤ エレナ・ヴォストロティナ
浅見麻子 ほか
演目=『ル・スフル・ドゥ・レスプリ』(振付:イリ・ブベニチェク)
『ステップテュスト』(振付:ウィリアム・フォーサイス)
『辿り着かない場所』(振付:イリ・ブベニチェク) ほか
料金=一般:S席8,000円/A席6,000円/学生A席3,500円
メンバーズ:S席7,200円/A席5,400円



オットー・ブベニチェク

MUSIC

彩の国さいたま芸術劇場ファミリー・コンサート
ピアノ・キラキラ・おとあそび

ソロ、室内楽、指揮、美術やダンスとの
コラボレーション等、多方面で活躍する
ピアニスト、中川賢一が登場!



チケット発売日
一般:11月28日(土) メンバーズ:11月21日(土)

日時=2010年3月7日(日) 開演 14:00
会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演=中川賢一(ピアノ)
曲目=モーツァルト:音楽のサイコロ遊び ほか
料金=大人1,000円 子ども(3歳~中学生)500円
※チケット購入の小学生とそのご家族を対象にしたワー
クショップを3月6日(土) 14:00から開催いたします。応募
方法については、P.23にて。

MUSIC

バッハ・コレギウム・ジャパン バッハ《マタイ受難曲》

毎年恒例のバッハ・コレギウム・ジャパン公演。
今年、不朽の名作、《マタイ受難曲》を
お届けします。



チケット発売日
一般:12月5日(土) メンバーズ:11月28日(土)

日時=2010年4月3日(土) 開演 16:00
会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演=鈴木雅明(指揮)
レイチェル・ニコルズ、松井亜希(ソプラノ)
マリアンネ・ベアーテ・キランテ、青木洋也(アルト)
クリストフ・ゲンツ、水越 啓(テノール)
ドミニク・ヴェルナー、浦野智行(バス)
料金=一般:正面席9,000円/バルコニー席7,500円
学生席(バルコニー席)3,000円
メンバーズ:正面席8,100円

【チケットの購入方法について】
財団チケットセンター 10:00～19:00(休館日を除く) ※一部携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

0570-064-939

【窓口販売】※休館日を除く
・彩の国さいたま芸術劇場 10:00～19:00 ・埼玉会館 10:00～19:00 ・熊谷会館 10:00～17:00
【インターネット販売】財団ホームページ http://www.saf.or.jp
メンバーズ優先予約は初日10時より、一般発売も初日10時より受付開始し、公演当日10時まで受付
いたします。※WEB会員(無料)の登録が必要です。

CINEMA

彩の国シネマスタジオ『未来の食卓』



食卓から始まった奇跡の実話。
南仏・バルジャック村の1年間を描き
オーガニックブームを巻き起こした
ドキュメンタリー。

チケット発売日 一般・メンバーズ:12月11日(金)

日時=2010年2月19日(金) 10:20 / 13:30 / 16:20 / 19:20
20日(土) 9:50 / 13:10 / 16:30 / 19:20
21日(日) 9:50 / 13:10 / 16:30

※20日(土) 13:10上映終了後、映画評論家 石子順氏によるアフタートークがあります。
※21日(日) 13:10上映終了後、米工房ひろおか岡岡幸子氏によるアフタートークがあります。

会場=彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
監督=ジャン＝ポール・ジョー (2008年/フランス/112分)
料金=一般:前売1,200円/当日1,400円 小中高生:前売800円/当日1,000円
シニア券(60歳以上、障がい者の方):前売/当日1,000円

MUSIC

埼玉会館ランチタイム・コンサート第10回
トリオ・エドアルテ(新日本フィル首席奏者による弦楽三重奏) + フルート

気軽に楽しめると大好評の公演。
第10回は、新日本フィルの首席奏者の
アンサンブルにゲストを迎えて開催!



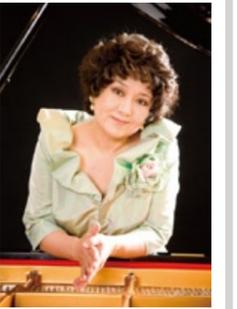
チケット発売日
一般:2010年1月16日(土)
メンバーズ:2010年1月9日(土)

日時=2010年5月18日(火)
開演 12:10 (13:00終演予定)
会場=埼玉会館 大ホール
出演=崔 文泳(ヴァイオリン) 中村美由紀(ヴィオラ) 花崎 薫(チェロ) 白尾 彰(フルート)
料金=全席指定1,000円

MUSIC

中村紘子 ピアノ・リサイタル

「ピアニスト100」51～100回の音楽監督、
中村紘子のデビュー 50周年記念リサイタル。
円熟の演奏をお楽しみください。



©尾形正茂

チケット発売日
一般:2010年1月16日(土)
メンバーズ:2010年1月9日(土)

日時=2010年6月19日(土) 開演 15:00
会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
料金=一般:正面席5,500円/バルコニー席4,000円
学生席(バルコニー席)2,000円
メンバーズ:正面席5,000円

CINEMA

彩の国シネマスタジオ『人生に乾杯』



年金にはもう頼れない?
幸せになるために立ち上がった老夫婦が
ヨーロッパの小さな国のヒーローになった!

チケット発売日
一般・メンバーズ:2010年1月15日(金)

日時=2010年3月12日(金) 10:20 / 13:30 / 16:10 / 19:10
13日(土) 9:50 / 13:00 / 15:40 / 18:30
14日(日) 10:30 / 13:40 / 17:00

※14日(日) 13:40上映終了後、映写技師 鈴木文夫氏によるアフタートークがあります。

会場=彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール 監督=ガール・ロホニ
出演=エミル・ケレシュ テリ・フェルディ ユディト・シェル ゾルターン・シュミエド ほか
(2007年/ハンガリー/107分)
料金=一般:前売1,200円/当日1,400円 小中高生:前売800円/当日1,000円
シニア券(60歳以上、障がい者の方):前売/当日1,000円

発売中公演情報 (2009.11.15 ~)

PLAY

源氏語り五十四帖

日時=第52回「蜻蛉」12月20日(日) 第53回「手習」2010年1月24日(日)
第54回「夢浮橋」2010年3月14日(日) 各回開演14:00

会場=彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演=幸田弘子(朗読) 三田村雅子(解説:上智大学教授)
料金=全席指定 1回券2,500円 第52~54回連続券6,600円

彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ~新春東西落語競演会

日時=2010年1月30日(土) 開演14:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演=桂米團治 柳家花緑 桂歌之助 春風亭一輔
料金=一般:3,000円 メンバーズ:2,700円 ゆうゆう割引(学生・65歳以上):2,000円

彩の国シェイクスピア・シリーズ第22弾「ヘンリー六世」 詳細はP.4~9にて

DANCE

ローザス「ツァイトウング Zeitung」

日時=11月27日(金) 開演19:30 28日(土) 開演16:00 29日(日) 開演16:00
※27日公演終了後、アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルによるポスト・トークがあります。

会場=彩の国さいたま芸術劇場 大ホール 演目=「ツァイトウング Zeitung」(2008年初演)
コンセプト=アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル アラン・フランコ
振付=アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル 出演=ローザス(9名) アラン・フランコ(ピアノ)
料金=一般:S席6,000円/A席5,000円/学生A席3,000円
メンバーズ:S席5,400円/A席4,500円
「ナイン・フィンガー」とのセット券 S席9,000円/A席8,000円/学生A席5,000円

池田扶美代+アラン・プラテル+ベンヤミン・ヴォルドンク

「ナイン・フィンガー Nine Finger」 詳細はP.12~13にて

埼玉県障害者アートフェスティバル 近藤良平と障害者によるダンス公演

「突然の、何が起ころかわからない」

日時=11月21日(土) 22日(日) 各日開演15:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
構成・振付=近藤良平 出演=近藤良平 藤田善宏 鹿野沙絵子 ワークショップ参加者
料金=全席指定1,000円

MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.11 福間洸太郎

日時=11月28日(土) 開演14:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目=ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第31番 変イ長調 作品110

バラキレフ:イスラメイ ほか
料金=一般:S席3,500円/A席2,500円/学生A席1,000円 メンバーズ:S席3,150円

彩の国さいたま芸術劇場アフタヌーン・クリスマス・コンサート

シエナ・ブラス5 詳細は下枠にて

埼玉会館ニューイヤール・コンサート ウィーン・MARO・アンサンブル

~篠崎史紀とN響メンバーによるウィーンの調べ~ 詳細はP.14~15にて

ピアノ・エトワール・シリーズ

Vol.12 フランチェスコ・トリスターノ・シュリメ 詳細はP.16~17にて

シリーズ 小菅 優の現在 Vol.1 デュオ&トリオ 詳細はP.18~19にて

SPECIAL PICK UP

彩の国さいたま芸術劇場
アフタヌーン・クリスマス・コンサート
シエナ・ブラス5 (金管五重奏)

クリスマス前のひととき、1,000円で気軽に楽しめる1時間のコンサートを彩の国さいたま芸術劇場の音楽ホールからお贈りします。「シエナ・ブラス5」は、日本を代表するプロフェッショナルの吹奏楽団「シエナ・ウィンド・オーケストラ」の実力派金管楽器奏者によるブラスアンサンブルで、メンバー達の個性溢れるパフォーマンスや軽妙なトークが高い人気を集めています。演奏するのはクリスマス・シーズンにふさわしい曲目ばかり。金管の華やかで温かみのある音色をどうぞお楽しみください。



©Kenji Kazama

【日時】
12月23日(水・祝) 開演14:00(終演予定15:00)

【会場】
彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】
シャイト:《戦いの組曲》より《戦いのガイヤルド》
ガブリエリ:カンツォン集より
J. S. バッハ=グノー:アヴェ・マリア
アンダーソン:クリスマス・フェスティバル
バーリン:ホワイト・クリスマス
Jポップクリスマス ~恋人がサンタクロース、クリスマスキャロルの頃は、クリスマス・イブ~ ほか

【料金】好評発売中 全席指定1,000円

CINEMA

「埼玉産映画」上映会「ソロコンテスト」「SR サイタマノラッパー」

日時=11月22日(日) 10:30A / 11:30B / 13:50A / 15:20B / 17:30A / 18:30B
23日(月・祝) 10:30A / 11:30B / 13:50A / 14:50B / 17:30A / 18:30B

A:「ソロコンテスト」(ユナイテッド・シネマ×SKIP シティ D-MAP2008)

B:「SR サイタマノラッパー」

※22日(日) 13:50上映回終了後、「ソロコンテスト」下條岳監督によるアフタートークがあります。

※23日(月・祝) 14:50上映回終了後、「SR サイタマノラッパー」入江悠監督によるアフタートークがあります。

会場=彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

A:監督=下條 岳(2008年/日本/40分) 出演:金澤美穂 三吉彩花 ほか

B:監督=入江 悠(2007年/日本/80分) 出演:駒木根隆介 みひろ ほか

料金=前売/当日 A:500円 B:700円 2作品セット券:前売1,000円(前売のみ取扱い)

主催:「埼玉産映画」上映実行委員会

共催:(財)埼玉県芸術文化振興財団/特定非営利活動法人埼玉映画ネットワーク

協力:株式会社デジタル SKIP ステーション

彩の国シネマスタジオ「愛を読むひと」

日時=12月11日(金) 11:55 / 15:40 / 18:50
12日(土) 9:50 / 13:20 / 16:20 / 19:30
13日(日) 10:00 / 13:40 / 16:50

※11日(金) 11:55上映回終了後、石子順氏によるアフタートークがあります。

会場=彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール 監督=ステイブ・ダルドリー

出演=ケイト・ウィンスレット レイフ・ファインズ デビッド・クロスほか

(2008年/アメリカ・ドイツ合作映画/124分)

料金=一般:前売1,200円/当日1,400円 小中高生:前売800円/当日1,000円

シニア券(60歳以上、障がい者の方):前売/当日1,000円

彩の国シネマスタジオ 優秀映画鑑賞推進事業

「青い山脈」「また逢う日まで」「野火」「ぼんち」

日時=2010年1月15日(金) 12:20A / 16:20B / 19:15C
16日(土) 9:50D / 13:00B / 15:45C / 18:35A
17日(日) 9:50A / 14:20C / 17:45D

※17日(日) 14:20上映回終了後、田島良一氏によるアフタートークがあります。

A「青い山脈」監督:今井正 出演:原節子 ほか (1949年/日本/172分)

B「また逢う日まで」監督:今井正 出演:岡田英次 ほか (1950年/日本/109分)

C「野火」監督:市川崑 出演:船越英二 ほか (1959年/日本/104分)

D「ぼんち」監督:市川崑 出演:市川雷蔵 ほか (1960年/日本/104分)

会場=彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール 料金=各上映500円(小中高生、シニア同額)

※前売予約販売はありません。当日受付にてお支払ください。

主催:文化庁/東京国立近代美術館フィルムセンター

協力:コミュニティシネマ支援センター

彩の国シネマスタジオ「ディア・ドクター」

日時=2010年1月29日(金) 14:35 / 18:20
30日(土) 9:50 / 13:15 / 16:15 / 19:30
31日(日) 10:00 / 13:45 / 17:45

※29日(金) 14:35上映回は、音声ガイドがつかます。イヤホン付きFMラジオ受信機を使用しますので、お聴きになる方はご持参ください。

※31日(日) 13:45上映回終了後、田島良一氏によるアフタートークがあります。

会場=彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール 監督=西川美和

出演=笑福亭鶴瓶 瑛太 余貴美子 井川遙 香川照之 松重豊ほか(2009年/日本/127分)

料金=一般:前売1,200円/当日1,400円 小中高生:前売800円/当日1,000円

シニア券(60歳以上、障がい者の方):前売/当日1,000円

公演詳細は、財団ホームページ

<http://www.saf.or.jp>にて

information インフォメーション

彩の国さいたま芸術劇場ファミリー・コンサート 関連企画
音楽ワークショップ ピアノ・ワンダーランド

見たことや聴いたことはあっても、「中はどうなっているの?」「どんな仕組みで音が出るの?」など、ピアノに関する疑問がたくさんありませんか? そんな素朴な疑問をたちまち解消するピアノ・ワークショップです。ご案内は、ピアニストや指揮者として、さらに美術やダンスと一緒に演奏やパフォーマンスなど、マルチに活躍中の中川賢一さん。エネルギー溢れる中川さんのお話と演奏で、ピアノの不思議が次々と明らかに!



見て、聴いて、体感して…盛りだくさんのピアノ・ワークショップ。ぜひご家族で参加して、ピアノ博士になりましょう!

【募集要項】

【日時】2010年3月6日(土) 開演14:00(15:30頃終演予定)

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大練習室 【出演】中川賢一(ピアノ)

【対象】3月7日のコンサート(P.21参照)のチケットをお持ちの小学生及びその保護者の方

※応募者多数の場合抽選

【申込み方法】次の事項を明記のうえ、往復ハガキでお申込みください。

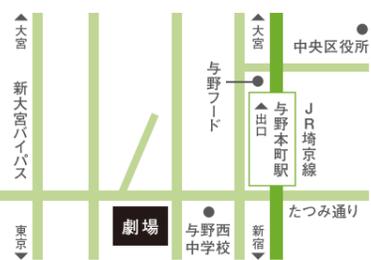
- 記入事項 ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤参加人数(最大4名1組) ⑥参加者名及び学年 ⑦3月7日のコンサートの座席番号(全員分)

●申込み締切 2010年1月30日(土) 必着

●申込み・問合せ先 〒338-8506 さいたま市中央区上峰3-15-1 彩の国さいたま芸術劇場事業部音楽担当 Tel.048-858-5506

ACCESS MAP アクセスマップ

彩の国さいたま芸術劇場



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
電話:048-858-5500(代) ファックス:048-858-5515
電車でのアクセス JR 埼京線と野本町駅(西口)下車 徒歩7分
バスでのアクセス JR 北浦和駅から西武バス大久保行き
「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

埼玉会館



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4
電話:048-829-2471(代) ファックス:048-829-2477
電車でのアクセス JR 京浜東北線浦和駅(西口)下車 徒歩6分

熊谷会館



〒360-0031 埼玉県熊谷市末広3-9-2
電話:048-523-2535 ファックス:048-523-2536
電車でのアクセス JR 高崎線熊谷駅(北口)下車 徒歩15分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

「簡単」・「早い」インターネットチケット購入

- Point 1 時間を気にせずいつでもアクセス(24時間受付)
- Point 2 メルマガで公演情報をいち早くキャッチ
- Point 3 気になる公演の空席状況をチェック
- Point 4 WEB先行販売で良席確保(一部公演のみ)
- Point 5 キャッシュレスでらくらく購入

- Point 6 購入チケットは自宅へお届け
- Point 7 ホームページから簡単WEB登録(無料)

※メンバーズの方もWEB会員登録が必要です。

<http://www.saf.or.jp> (PCのみ)

■サポーター会員

(財) 埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、蛭川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのが(財)埼玉県芸術文化振興財団サポーター会員の皆様方です。

(株) 与野フードセンター / (株) 亀屋 / 武州ガス(株) / (株) 松本商会 / (有) 香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 / (株) テレビ埼玉ミュージック / 埼玉りそな銀行
(株) パシフィックアートセンター / アサヒ印刷(株) / FM NACK5 / 東京電力(株) 埼玉支店 / 東京ガス(株) / カヤバ システム マシナリー(株) / (株) タムロン
(株) 十萬石ふくさや / 森平舞台機構(株) / 日本データコム(株) / (株) ビルメン / 東芝ライテック(株) / 埼玉トヨタ自動車(株) / (有) 齋賀設計工務
ゲレッツ・ジャパン・スズゼン(株) / 武蔵野銀行 / 浦和ロイヤルパインズホテル / (株) アルピーノ / 国際照明(株) / (株) サイサン 会長 川本宜彦 / 三国コカ・コーラボトリング(株)
(株) ショーモン / 埼玉スバル自動車(株) / (株) 東玉 / 桶本興業(株) / (株) 佐伯紙工所 / (株) 太陽商工 / (株) しまむら / アイジャパン(株) / (有) 六辻ゴルフセンター
不動産開発(株) / ビストロ やま / ホッカイエムアイシー(株) / 埼玉縣信用金庫 / (株) 栗原運輸 / 彩の国SPグループ / (有) プラネット / 関東自動車(株) / 日本ピストンリング(株)
(株) クマクラ / (株) デサン / (株) グリーン企画社 / (株) 中島運輸 / (株) 国際ビジネス研究所 / セントラル自動車技研(株) / (株) アズマン / 太平洋セメント(株)
(株) ピー・アンド・イー・ディレクションズ / 丸美屋食品工業(株) / 日立キャピタル(株) / ボラスグループ / ひがし歯科 / 埼玉建興(株) / (株) 日産サテリオ埼玉
埼玉トヨペット(株) / 公認会計士 宮原敏夫事務所 / (株) 価値総合研究所 / (株) 埼玉交通 / (株) 東和銀行 / 医療法人 顕正会 蓮田病院 / (株) ウイズネット
サイデン化学(株) / アイル・コーポレーション(株) / 五光印刷(株) / 旭ビル管理(株) / ヤマハサウンドシステム(株) / (株) エヌテックサービス / (株) クリーン工房
(株) つばめタクシー / (株) サンワックス / (株) 総合舞台 H21.10.15現在 / 一部未掲載

[問合せ先] (財) 埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507

劇場に遊ぶ、劇場で出会う

第4回 【稽古場／練習室】

華やかなライトを浴び、喝采の拍手、そしてアンコール。俳優にとって、ダンサー、音楽家にとって、これほど幸せな瞬間はありません。でも、その至福の気分にひたれるのは、何度も試行錯誤を繰り返し、演出家や振付家、指導者の厳しい叱責や本人の血のにじむような努力があってこそ。お客様には決して見せることのない練習の積み重ねが、極上の舞台を生むのです。

彩の国さいたま芸術劇場には、そうした練習用の稽古場(演劇・舞踊専用)・練習室(音楽専用)が大小12もあります。このこと自体、公共劇場では特筆すべきことで、舞台人にとってはこれほど恵まれた環境はありません。特にガレリアに面して出入り口がある「大稽古場」は、実際の大ホールの主舞台より一回り大きくつくられていますから、本番と同じセットを稽古場に組むことができ、動きも制約されることなく、稽古ができます。また、地下には音楽の練習用に6室の練習室がありますが、「大練習室」は、4管編成のオーケストラの練習も可能です。

プロばかりではありません。日頃練習場や稽古場の確保にご苦労されているアマチュアのみなさんにもご利用いただいています(埼玉県民以外の方でもご利用になれます)。利用率が高いため、かならず空き状況を電話で問い合わせるか、ホームページで確認してください。利用希望日の月の6カ月前の初日から窓口で受け付けています。

◎ お問い合わせ: 048-858-5500 http://www.saf.or.jp/arthall/rental/practice_room/index.html

